

夏のおたすけ隊～読書感想文編～

小学
4～6年生編

展示期間:7月24日(土)～8月25日(水)

※休館日…毎週木曜日・平日に当たる祝日



「赤毛証明」 くもん出版

光丘 真理/著

今日、あたしは、「ふつう」でない印をおされた。生徒手帳の1ページ真ん中に、赤いゴム印で「赤毛証明」と…。「ふつう」ってなに？ この髪、どうしてダメですか？「自分らしく生きる」ために声を上げる少女の物語。



「夢をかなえる未来ノート」

PHP 研究所

本田 有明/著

プロ野球選手になる夢をかなえるため、陽は「未来ノート」を作ることに決めた。発明家になりたい弟の大、デザイナーを夢見る沙良とともに、夢を実現させるための一歩を踏み出した…。

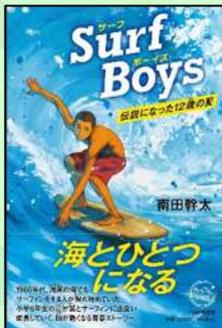


「虹いろ図書館のひなとゆん」

河出書房新書

櫻井 とりお/著

友だちがない小学4年生ひなは、ある日、不思議な少女ゆんに出会う。世界をめぐってきたゆんと、ゆんのお話に魅了されるひな。ずっと友達でいられると思ったふたりだったが…。



「Surf Boys」 PHP 研究所

南田 幹太/著

1960年代、湘南の海でもサーフィンをする人が現れ始めていた。小学6年生の亮は、サーフィンが上手な同い年の誠に出会う。ふたりは毎日、木製の板でサーフィンの練習をするようになり…。少年の成長を描いた青春物語。



「太郎の窓」 汐文社

中島 信子/著

お父さんはいつも「男らしくしろ」というけれど、太郎は男らしくなりたい。太郎という名前が大きらい。ズボンよりも、スカートをはきたいの…。心と体のちがいに苦しむ太郎の成長を描く。



「ふつうに生きるって何?」

毎日新聞出版

井手 英策/著

答えなんてないことと向き合い、なやみ、苦しむ。あきらめずに、希望を見つけようとふんばる。小学生5年生の榎太郎がふつうのできごとに「意味」を見つけていく物語。

本屋さんのおすすめ！ 小学4～6年生編



「校長先生、ちょっとこわくてふしぎな話を聞かせて」
扶桑社
竹宮 竜/著
校長先生は子どもの頃、「お化け屋敷」と呼ばれていた空き家を悪友と探検した。すると、壁に気味の悪い絵がかかっている…。



「十年屋」 静山社
廣嶋 玲子/著
ずっと大事にしていたぬいぐるみ、大好きな人からもらった写真…。捨てられないもの、捨てたくないものを10年間、魔法で預かる「十年屋」。対価は寿命1年…。



「サーカスの少女」COBOL
植木 雅俊/著
小学校入学前に島原へと引っ越してきた寿。仲良くなったサーカスの少女・雪子が学校に通えないかもしれないと聞いた寿は、雪子を学校へ連れて行って…。豊かな自然と幼い子どもたちの純粋な心を描いた自伝的小説。



「銀河鉄道の夜」
学研プラス
宮沢 賢治/著
少年ジョバンニが、親友のカミィ、ネルラと、銀河鉄道に乗ってふしぎな旅に出る…。



TSUTAYA 滝川店

滝川市新町 2-10-15

TEL:0125-26-2222